



■特長

- ・太陽から放射される近赤外線領域を効果的に反射し、塗膜表面温度の上昇を抑制、室内温度の上昇を緩和します。
- ・遮熱効果により、冷房費などの低減が期待でき、省エネルギーに貢献します。
- ・鉛・クロムなどの有害な重金属を原料に使用せず、弱溶剤タイプの環境配慮型塗料です。
- ・高耐候性樹脂採用により、すぐれた耐候性、耐久性を発揮します。
- ・低汚染性の塗膜のため、遮熱効果の低下を防ぎ、長期間遮熱性を維持します。
- ・防藻・防カビ剤の配合により、カビや藻類の発生を抑え、清潔な住環境を維持します。

■被塗物素材

- ・コンクリート、モルタル、窯業系サイディング、金属系サイディング、各種金属面など

■製品要綱

種類・色	主剤：常備色(21色) 硬化剤：硬化剤、弾性用硬化剤
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設、工場、倉庫など外部壁面 各種旧塗膜など塗り替え
容量	主剤：13.5kg 硬化剤：1.5kg、弾性用硬化剤：1.8kg
配合比	主剤：硬化剤 = 9：1 (主剤：弾性用硬化剤 = 7.5：1)
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.11~0.13
標準塗付面積(m ² /15kgセット・回)	115~135
希釈剤	塗料用シンナー
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー 5~15 エアレス 10~20
標準塗装回数	2
可使時間	(5℃) 18時間 (23℃) 7時間 (30℃) 4時間
指触乾燥時間	(5℃) 50分 (23℃) 25分 (30℃) 15分
塗り重ね可能時間	(5℃) 4時間以上7日以内 (23℃) 2時間以上7日以内 (30℃) 1.5時間以上3日以内
光沢	つや有り
特化則該当物質	主剤：該当物質なし 硬化剤：該当物質なし
有機溶剤表示	主剤：第3種有機溶剤等 硬化剤：第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	主剤：第4類 第二石油類(非水溶性) 硬化剤：第4類 第二石油類(非水溶性)
材工価格(2020年9月現在)	¥2,350.-/m ² (当該製品のみ・300m ² 以上)

■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・セメント系素材の塗装にはシャネツロックシーラーを下塗りしてから塗装してください。
- ・金属面の塗装にはシャネツロックプライマーを下塗りしてから塗装してください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。